

# 体育服のトラブル

資料提供 学校スポーツウエア会

## ◆ 生地表面に毛玉ができた。

### ●原因として考えられること

ポリエステル／綿の混紡（特にニット製品）の場合、表面の綿糸とポリエステルが擦れや洗濯によってからまり、強いポリエステルのみが脱落せずに、毛玉として残りやすい。

### ●お客様へのお願い

乾燥機や洗濯機によって毛玉ができるのは避けられません。洗濯機で頻繁に洗濯をすると衣類は傷むので、洗濯ネットに入れて、弱水流にするなど選択方法を工夫して下さい。（柔軟仕上げ剤も有効です）

## ◆ 生地表面に毛玉ができた。

### ●原因として考えられること

ポリエステル／綿の混紡（特にニット製品）の場合、表面の綿糸とポリエステルが擦れや洗濯によってからまり、強いポリエステルのみが脱落せずに、毛玉として残りやすい。

### ●お客様へのお願い

乾燥機や洗濯機によって毛玉ができるのは避けられません。洗濯機で頻繁に洗濯をすると衣類は傷むので、洗濯ネットに入れて、弱水流に擦るなど選択方法を工夫して下さい。（柔軟仕上げ剤も有効です）

## ◆ 乾燥機で衣類が縮んだ

### ●原因として考えられること

ニット製品が綿 100%、ポリエステル／綿の混紡ともに乾燥機の使用で縮む。特に綿 100%は縮みやすく、注意が必要です。

### ●お客様へのお願い

ニット製品には乾燥機を使用しないよう心掛けてください。

## ◆ 綿混紡素材で綿が脱落して生地が薄くなり、ポリエステルがスダレ状になった。

### ●原因として考えられること

洗濯時に、漂白剤で長時間漬け置きした。  
汗汚れがひどい状態で長時間放置した。  
通学時のカバン着用で肩部分、また教室の机やイスの角で擦れて、この部分が薄くなった。

### ●お客様へのお願い

綿衣類の汚れは汗（水溶性）と皮脂（油性）の分泌が衣類に付着するものです。水溶性の汗は繊維に早く浸透し、油性の皮脂は擦れにより奥深く繊維に入り込み浸透します。汚れの中でも、特に落ちにくいのはこの汗と皮脂です。この汚れが徐々に残って、特に白い衣類は黄ばんできます。この汚れを取るために漂白剤を使用する場合、使用する前に漂白剤の注意書きと衣類の取り扱い表示を十分確認してください。

### 「塩素系漂白剤の使用できない絵表示にご注意ください。」

漂白剤は衣類に直接ふりかけないで、30℃以下の水によく溶かしてから 30分～2時間の漬け置きをします。これ以上の長時間漬け置きしないでください。また、通学カバンの素材ででザラザラした肩のベルトが使われていたり、机の角のザラついた箇所やイスの背もたれとのレスによって綿脱落になり、肩、腰、腹部分などが薄くなります。特にご注意下さい。

## ◆ カビと変色がひどい。

### ●原因として考えられること

汗などの汚れが酷く、そのまま長時間置いておくと、雑菌が繁殖し、変色のもととなるカビや臭いニオイの原因となる。

### ●お客様へのお願い

汗で汚れたものは放置せず、直ぐに洗濯してください。衣類を汚れたままで収納することは避け、収納前には必ず十分な洗濯をしてください。

## ◆ 体育館で滑って穴があいた。

### ●原因として考えられること

ポリエステルは約 250℃で溶解します。体育館で滑った場合、床との摩擦熱は瞬間的に 400～500℃になり、ポリエステルが溶解して穴があきます。

### ●お客様へのお願い

摩擦防融加工のものであれば、穴あきは少なくなります。万全ではありません。また、洗濯の度にその効力が落ちてきます。体育館での激しいスライディングなどは避けてください。

## ◆ 防水性（はっ水性）のジャンパーやウインドブレーカーの脱水には注意

●防水性（はっ水性）のジャンパーやウインドブレーカーなどを洗濯機で脱水したところ、洗濯機が飛び跳ねたり、倒れたりバラバラに壊れたという事件が起きています。

### ●お客様へのお願い

洗濯機が水を通さないために起きる事故の注意しましょう。防水性（はっ水性）の衣類は洗濯機で脱水しないでください。防水性（はっ水性）の衣類は、洗濯槽を脱水の際に高速回転させると水分を通さないために、水が片寄って大きく洗濯機が揺れたり、バランスを崩して転倒したり、洗濯機ごと異常振動を起こして事故が発生します。注意表示をご確認下さい。